

教科によるP D C A

～ 研究テーマ「学び合い、考える力を伸ばす授業を目指して」～

保健体育科

平成 20 年度実践報告

1. 第 1 回授業評価 (6/26～7/18 実施) を受けて

ア. 前年度の成果と課題 (本年度授業のめあて) Plan

〈成果〉

体育

- ・個人の目標設定をして活動することにより、個人やグループの上達度が把握できたり、課題が明確になったりするなど、少しずつではあるが活動が活発になっていった。
- ・グループノートを班員全員で記入し活動記録を残した。班長がグループの目標 (方向性) を示し、それに対して班員が班の方向性に沿った個人目標計画を設定した。それにより、グループや個人の課題解決を班員全員で行うことができ、より中身の濃いグループ学習ができた。

保健

- ・資料収集やアンケートを分析するなど、興味を持ってレポート作成することができた。
- ・発表に対して質問したり、議論したり、普段の授業よりも活動的に学習に取り組んでいた。
- ・リーダーが班員をまとめ、テーマ設定からプレゼンテーションまで、計画立案及び実行までスムーズに活動することができた。
- ・プレゼンテーションにおいて、「人に伝えることの難しさがわかった」「聞く姿勢の大切さがわかった」という感想が多かったことは、まさにプレゼンテーション学習の成果が出ていると思われる。

〈課題〉

体育

- ・各種の運動の特性を理解し、すすんで実践する態度を育成する。
各種目の習得すべき基礎的技能を具体的に提示するとともに、個々の到達目標を設定させる。
- ・生涯にわたり自らすすんでスポーツを実践できる態度の育成を図る。
自ら興味のある種目を選択させ、グループで計画実践する。
- ・健康増進、体力向上のため、運動量をできうるだけ多く確保する。
- ・中学校と連携したカリキュラム (種目) を実行する。

保健

- ・分野ごとの課題解決学習、プレゼンテーションを通し、社会生活や日常生活と健康の関わりを理解させる。
- ・健康にかかわる最新のテーマについて、考えや意見を発表したり書いたりさせる。
- ・人工蘇生法等の実習や、外部講師の講演により、身近な問題に関心を持たせる。

イ. 取り組みの方法 Do

体育

- ・グループ活動を主とし、1, 課題の考察→2, 解決への方法→3, ゲーム中に自己の役割を果たす。ことで、主体的な活動ができ、生涯スポーツへのモチベーションを高め、活動の基礎を作る。

保健

- ・日常生活と健康との関わりを学ぶ授業。ビデオ、講演も活用。

ウ. 第1回授業評価の結果分析と課題 Check

体育

- ・おおむね良好ではあるが体力・技能の二極化もうかがえる。
- ・一斉授業とグループ学習を上手に併用し、個々の課題解決やゲームに必要な個人および集団の技能向上に努める必要がある。

保健

- ・授業の進め方には問題がないようだが、内容については様々なニーズがある。
- ・実践的な授業や視聴覚機器を使った授業、講演など教科書のみにとらわれず、活動的な保健授業の工夫が必要なのかもしれない。二学期以降の項目にはこれらを解決する内容が予定されている。

エ. 2学期に向けての改善の手だて Action

体育

- ・全員に必要な個人的技能を修得させる指導法の工夫は当然であるが、ゲームにおけるチーム内での個々の能力を活かせる作戦（戦術）などを考えさせる。また、グループ活動における自己の役割に責任を持たせ、授業運営における自己の存在意識を確立させる。

保健

- ・1学期の授業で行った日常生活における健康への興味関心をプレゼンテーションする。
- ・課題を設定し、調査研究・資料をまとめレポート作成し発表するという流れを計画的に実践させる。